

# 美幌町における景気動向調査報告書

## < 第Ⅲ四半期 >

美幌商工会議所

### I . 調査要領

#### 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 令和5年10～11月
- (2) 調査対象期間 令和5年7～9月期実績及び令和5年10～11月期の見通しについて調査した。

#### 2. 調査対象及び調査方法

##### (1) 調査対象

会員事業所の中から小売業35社、卸売業10社、建設業20社、製造業20社、サービス業35社(飲食15社・飲食以外20社)の5業種120社を対象とした。

##### (2) 調査方法

調査対象に対し調査票を送付し、FAXまたは訪問による聴取により回答を頂いた。

#### 3. 業種別回答状況 (事業所数)

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
小売業	35事業所	29事業所	82.9%
卸売業	10事業所	8事業所	80.0%
建設業	20事業所	16事業所	80.0%
製造業	20事業所	14事業所	70.0%
飲食業	15事業所	13事業所	86.7%
サービス業	20事業所	16事業所	80.0%
合計	120事業所	96事業所	80.0%

- 本調査結果中の「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (好転・上昇) 企業割合から減少 (悪化・低下) 企業割合を差引いた値 (景気動向指数) を示す。

## Ⅱ．概況 《全体の動き》

令和5年度第Ⅲ四半期（7月～9月）の美幌町における業況は、全業種で見ると前年同期比で「好転した」と答えた企業割合が26.0%、「悪化した」と答えた企業割合が21.9%、「好転」から「悪化」を差引いたD・I値は4.1となっており、前期（7.2）より3.1ポイントの減少となったが、回復傾向に向かっている。

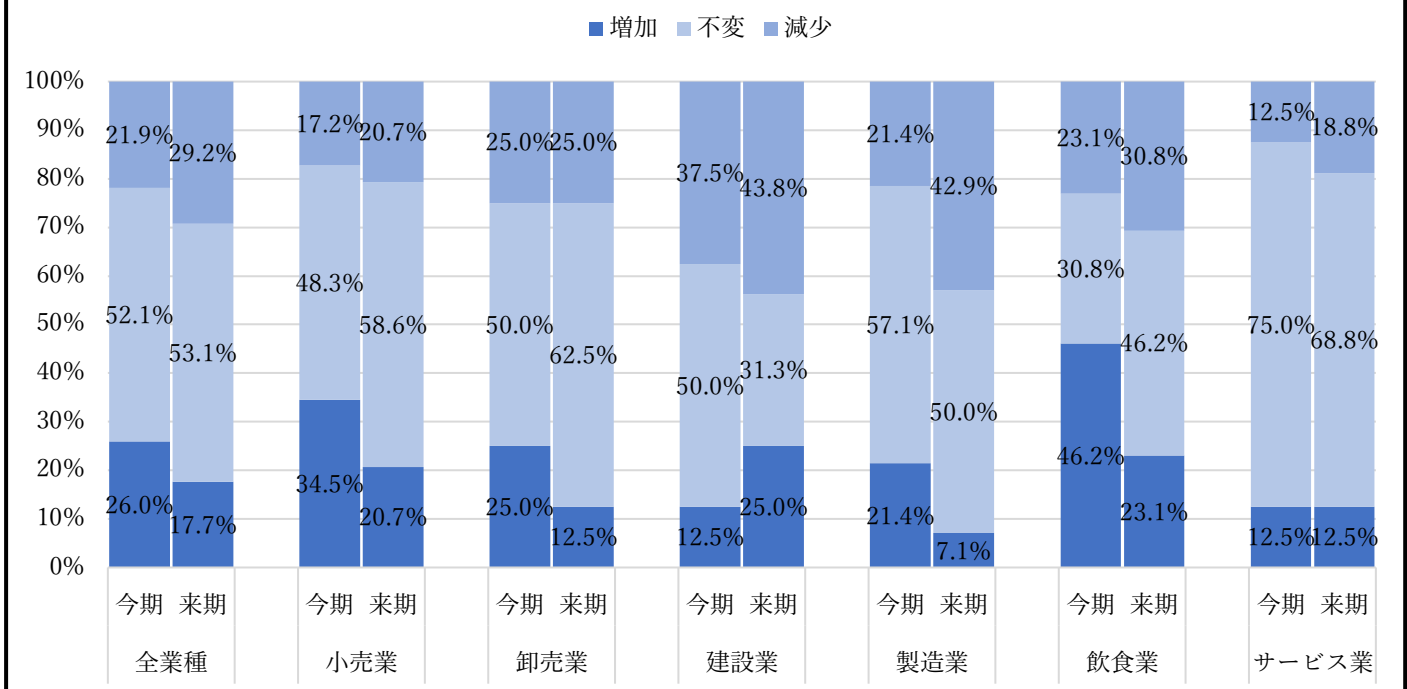
来期（10月～12月）業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が17.7%、「悪化する」と答えた企業割合が29.2%であり、D・I値△11.5となっており、今期と比較すると一転して悪化していく傾向にあると予測しております。

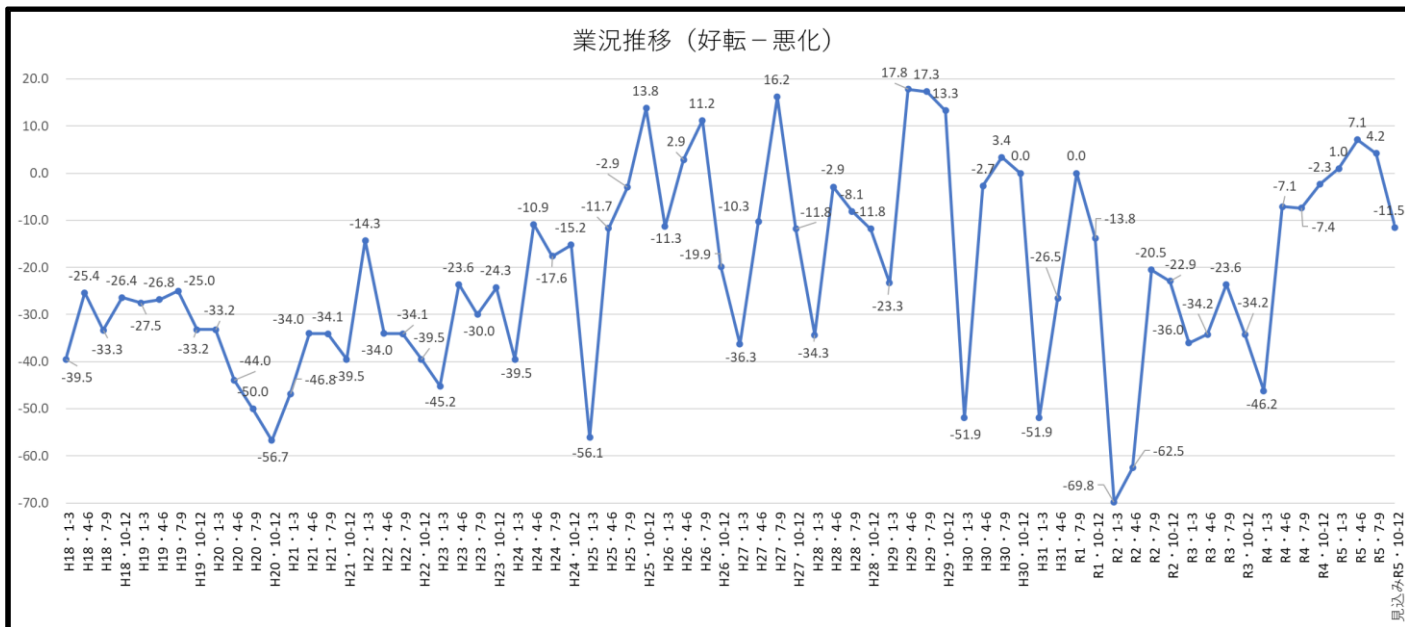
各業種において、依然として資材・商品等の値上がりやエネルギー価格の高騰による「経費増加」が経営課題として多く、次いで「人材不足」、「顧客需要の停滞・変化」の回答が数多くありました。

### 業種別D I

業況（％）	今期（令和5年7月～9月）の実績 （前年同期比）				令和5年10月～12月の見通し （今期比）			
	好転	不変	悪化	D I値	好転	不変	悪化	D I値
全業種	26.0	52.1	21.9	+ 4.1	17.7	53.1	29.2	-11.5
小売業	34.5	48.3	17.2	+17.3	20.7	58.6	20.7	± 0.0
卸売業	25.0	50.0	25.0	± 0.0	12.5	62.5	25.0	-12.5
建設業	12.5	50.0	37.5	-25.0	25.0	31.3	43.8	-18.8
製造業	21.4	57.1	21.4	± 0.0	7.1	50.0	42.9	-35.8
飲食業	46.2	30.8	23.1	+23.1	23.1	46.2	30.8	- 7.7
サービス業	12.5	75.0	12.5	± 0.0	12.5	68.8	18.8	- 6.3

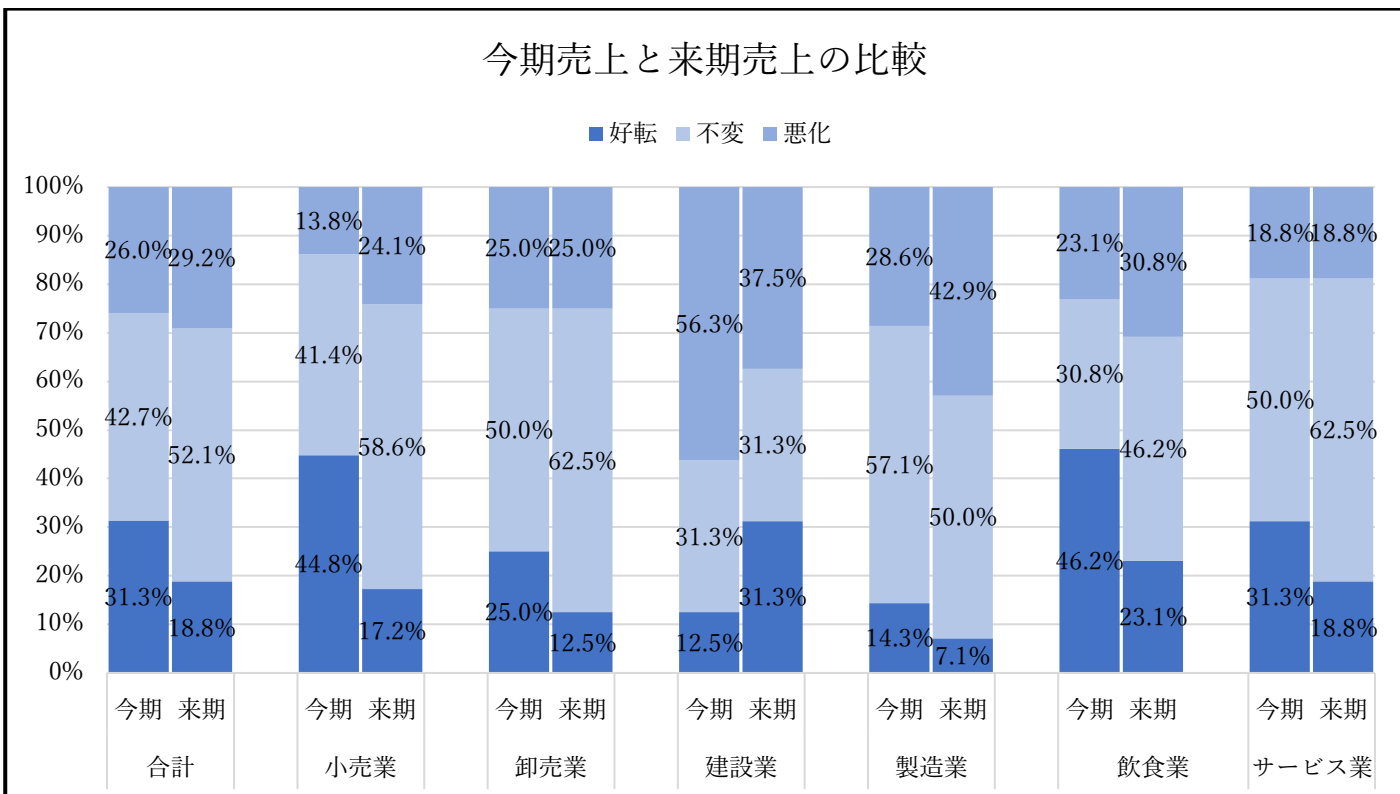
### 今期業況と来期業況の比較





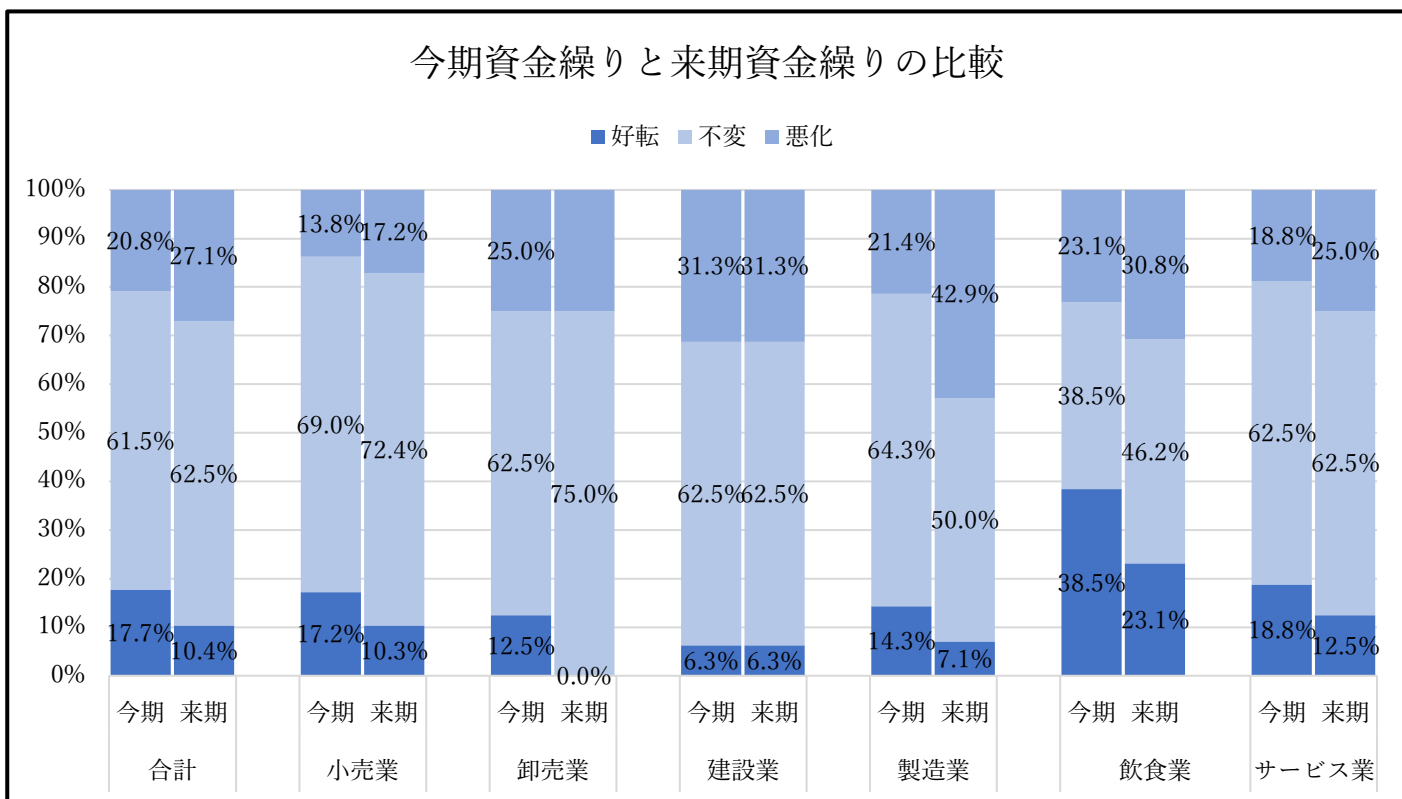
売上高 (%)	今期 (令和5年7月～9月) の実績 (前年同期比)				令和5年10月～12月の見通し (今期比)			
	好転	不変	悪化	DI値	好転	不変	悪化	DI値
全業種	31.3	42.7	26.0	+ 5.3	18.8	52.1	29.2	-10.4
小売業	44.8	41.4	13.8	+31.0	17.2	58.6	24.1	- 6.9
卸売業	25.0	50.0	25.0	± 0.0	12.5	62.5	25.0	-12.5
建設業	12.5	31.3	56.3	-43.8	31.3	31.3	37.5	- 6.2
製造業	14.3	57.1	28.6	-14.3	7.1	50.0	42.9	-35.8
飲食業	46.2	30.8	23.1	+23.1	23.1	46.2	30.8	- 7.7
サービス業	31.3	50.0	18.8	+12.5	18.8	62.5	18.8	± 0.0

※建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を示す。



	今期（令和5年7月～9月）の実績 在庫水準(%)（前年同期比）				今期（令和5年10月～12月）の実績 採算(%)（前年同期比）			
	好転	好転	不変	悪化	DI値	不変	悪化	DI値
全業種	17.3	73.1	9.6	+ 7.7	21.9	47.9	30.2	- 8.3
小売業	20.7	72.4	6.9	+13.8	27.6	51.7	20.7	+ 6.9
卸売業	12.5	62.5	25.0	-12.5	25.0	50.0	25.0	± 0.0
建設業	-	-	-	-	6.3	43.8	50.0	-43.7
製造業	7.1	85.7	7.1	± 0.0	21.4	42.9	35.7	-14.3
飲食業	-	-	-	-	30.8	38.5	30.8	± 0.0
サービス業	-	-	-	-	18.8	56.3	25.0	- 6.2

資金繰(%)	今期（令和5年7月～9月）の実績 （前年同期比）				令和5年10月～12月の見通し （今期比）			
	好転	不変	悪化	DI値	好転	不変	悪化	DI値
全業種	17.7	61.5	20.8	- 3.1	10.4	62.5	27.1	-16.7
小売業	17.2	69.0	13.8	+ 3.4	10.3	72.4	17.2	- 6.9
卸売業	12.5	62.5	25.0	-12.5	0.0	75.0	25.0	-25.0
建設業	6.3	62.5	31.3	-25.0	6.3	62.5	31.3	-25.0
製造業	14.3	64.3	21.4	- 7.1	7.1	50.0	42.9	-35.8
飲食業	38.5	38.5	23.1	+15.4	23.1	46.2	30.8	- 7.7
サービス業	18.8	62.5	18.8	± 0.0	12.5	62.5	25.0	-12.5



## < 業 種 別 の 動 き >

1) 小 売 業 売 上 高 前年比で「好転した」と答えた企業割合が44.8%、「悪化した」と答えた企業割合が13.8%、D・I値31.0になっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が17.2%、「悪化する」と答えた企業割合が24.1%、D・I値△6.9となっており、前期から回復傾向となりましたが、来期では一転して下降傾向となっていく見込みとなっております。

資 金 繰 前年比で「好転した」と答えた企業割合は17.2%、「悪化した」と答えた企業割合が13.8%、D・I値3.4、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が10.3%、「悪化する」と答えた企業割合が17.2%、D・I値△6.9となっており、資金繰りについても今期は回復傾向となりましたが、来期では下降傾向となっていくと見込みとなっております。

2) 卸 売 業 売 上 高 前年比で「好転した」と答えた企業割合が25.0%、「悪化した」と答えた企業割合が25.0%、D・I値0.0となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が12.5%、「悪化する」と答えた企業割合が25.0%、D・I値△12.5となっており、今期については現状維持を保ったものの、来期については下降傾向となっていくと予測されます。

資 金 繰 前年比で「好転した」と答えた企業割合は12.5%、「悪化した」と答えた企業割合が25.0%、D・I値△12.5、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0.0%、「悪化する」と答えた企業割合が25.0%、D・I値△25.0となっており、資金繰りについては、売上に比例せず下降傾向となっており、来期についても厳しい状況が続いていくと予測されます。

3) 建 設 業 完 成 工 事 高 前年比で「好転した」と答えた企業割合が12.5%、「悪化した」と答えた企業割合が56.3%、D・I値△43.8となっており、来期の見通しをみると今期同様に「好転する」と答えた企業割合が31.3%、「悪化する」と答えた企業割合が37.5%、D・I値△6.2となっており、前期に引き続き落ち込み傾向が続いていくと予測されております。

資 金 繰 前年比で「好転した」と答えた企業割合は6.3%、「悪化した」と答えた企業割合が31.3%、D・I値△25.0、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が6.3%、「悪化する」と答えた企業割合が31.3%、D・I値△25.0となっており、資金繰りについても工事量が見込めない中、依然として下降傾向が続いていくと予測されております。

4) 製造業 生産高

前年比で「好転した」と答えた企業割合は14.3%、「悪化した」と答えた企業割合が28.6%、D・I値△14.3、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が7.1%、「悪化する」と答えた企業割合が42.9%、D・I値△35.8となっており、下降傾向となっており、来期についても引き続き落ち込んでいくと予測されております。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は14.3%、「悪化した」と答えた企業割合が21.4%、D・I値△7.1、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が7.1%、「悪化する」と答えた企業割合が42.9%、D・I値△35.8となっており、売上高同様に資金繰りについても下降傾向が続いていくと予測されております。

5) 飲食業 売上高

前年比で「好転した」と答えた企業割合が46.2%、「悪化した」と答えた企業割合が23.1%、D・I値23.1となっており、来期の見通しをみると今期同様に「好転する」と答えた企業割合が23.1%、「悪化する」と答えた企業割合が30.8%、D・I値△7.7となっており、前期に引き続き回復傾向にあり、来期について一転して、下降傾向となっていくと予測されております。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は38.5%、「悪化した」と答えた企業割合が23.1%、D・I値15.4、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が23.1%、「悪化する」と答えた企業割合が30.8%、D・I値△7.7となっており、今期は売上に比例し回復傾向にありましたが、来期に関しては売上とともに厳しい状況になっていくと予測されております。

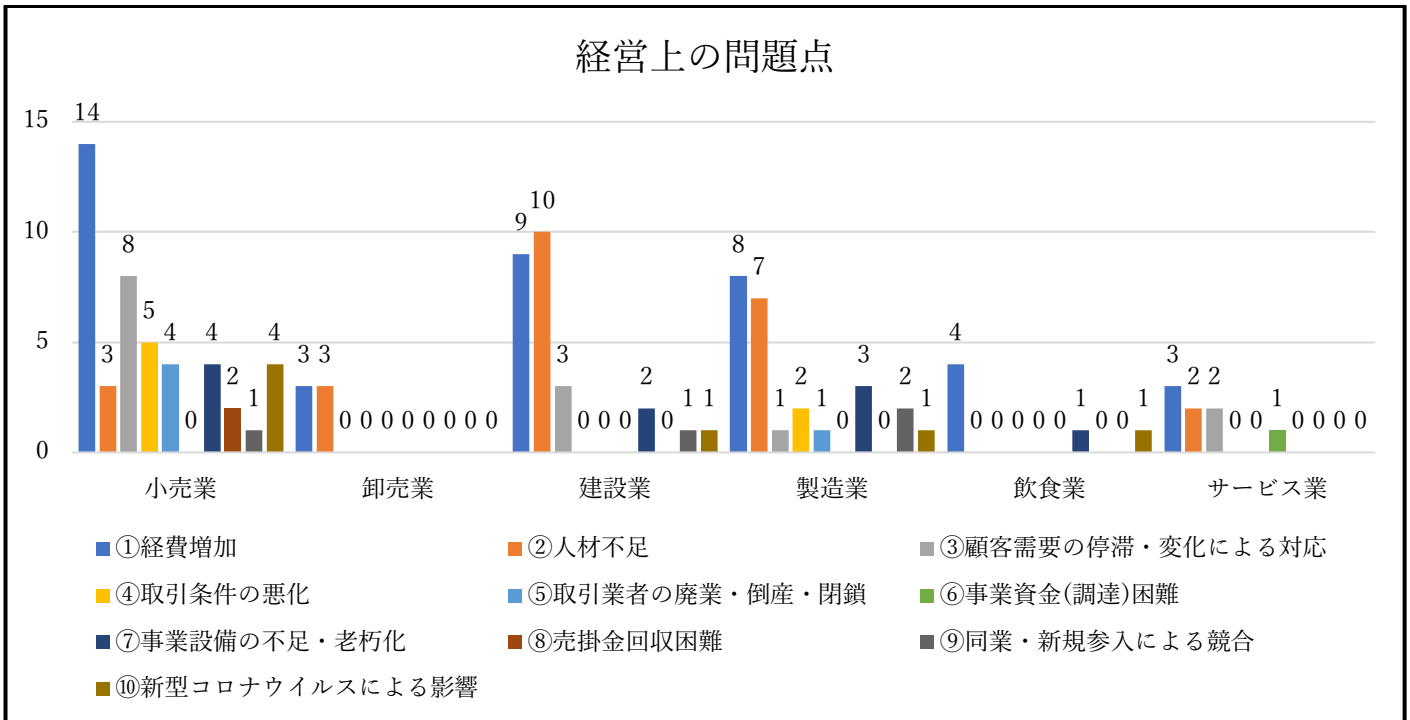
6) サービス業 売上高

前年比で「好転した」と答えた企業割合が31.3%、「悪化した」と答えた企業割合が18.8%、D・I値12.5となっており、来期の見通しをみると今期同様に「好転する」と答えた企業割合が18.8%、「悪化する」と答えた企業割合が18.8%、D・I値±0.0となっており、今期は前期に引き続き回復傾向にあり、来期については現状維持になると予測されております。

資金繰

前年比で「好転した」と答えた企業割合は18.8%、「悪化した」と答えた企業割合が18.8%、D・I値±0.0、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が12.5%、「悪化する」と答えた企業割合が25.0%、D・I値△12.5となっており、資金繰りに関しては、売上が回復傾向にあるのと裏腹に著しい経費の増加により、厳しい状況が続いていくと予測されております。

## < 経営上の問題点 >



## < 業界の問題点・要望 >

### 【小売業】

- ・コロナ及び感染症流行により、薬品の入荷が酷い状況である。10月からパートの最低賃金が上がり、扶養範囲（103万～130万）の壁がある為、働ける時間が減り、恒常的にスタッフ不足である。
- ・問屋の品揃えの問題（品揃えが悪い）
- ・問屋の営業形態のスリム化による原料仕入の悪化（最低数量指定の底上げなど）問屋の在庫不足
- ・人口減少なのか、自営業に魅力がないのか、立地条件が悪いのか人が集まりません。お客様はいらっしゃいますが、仕事の魅力がないのか？
- ・有給休暇の取得が当たり前で、1日の労働力不足になり補填ができない。

### 【卸売業】

- ・物価高騰による工場建設の費用が大きかった。  
夏～初冬にかけて収穫期が繁忙期で人手が不足するため、農家さんのワンデイワークアプリの工場版があれば活用してみたい。

### 【建設業】

- ・資材、人件費upによる需要減少
- ・全ての資材の値上げで厳しい状況です。値上がり分を転嫁が大変です。
- ・働き方改革による、時間外制限、週休2日の対応

### 【サービス業】

- ・常連さんが多い自店ではなかなか値上げができません。（他店の状況はわからない）